

センター通信

発行所 社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会

広島市就労支援センター

TEL (082) 537-1331

FAX (082) 537-1332

E-mail: si-jusan@gaea.ocn.ne.jp

http://h-shisyurou.jp/

2015年8・9月〔第227号〕

Create(創造), Challenge(挑戦), Collaborate(協働)を大切に

広島土砂災害(2014・8・20)から1年

あれから1年、いろいろなことが思い出されます。被災された3事業所に、語りつくせないことがたくさんあるでしょうが、お願いしてこの1年を振り返っていただきました。

八木園

『経験を活かせるように・・・8.20から学んだこと』 施設長 春木 強 氏

昨年8月20日(水)の早朝以降の出来事を思い起こしてみると、太田川橋付近で施設全壊を確認後、理事長へ報告するとともに職員に緊急連絡網を使って利用者へ自宅待機を伝えるよう指示を出しました。ここで問題になった事は、こんな時でも連絡網が十分機能せず、次の人への連絡が出来ていないため途中で止まっていることや、「明日から通常どおり送迎があるのか？」という問い合わせが利用者の家族から何件もあり、伝言ゲームの様に正確に事態が伝わっていないという事実が次々に判明してきたことです。また、被害の大きかった梅林地区に住む利用者については、翌日まで安否確認すらできませんでした。八木園では、安否確認等、非常時の対応マニュアルを作成していなかったことが、混乱に輪をかけました。

とりあえず、翌21日(木)に祇園公民館において職員会議を開催し、職員に現状を説明するとともに、①早急に作業所を再開する、②24日(日)に保護者会を開催し、現状報告と今後の予定を説明して混乱を収拾させる、③25日(月)より仕事を頂いていた企業をまわり、状況の説明とお詫びをする事の3点を決定しました。

22日(金)には、市障害自立支援課へ被災状況の報告をおこない、再開についても他法人の協力で場所の目処もたちました。24日(日)、保護者会で、混乱への謝罪・被災状況の報告、9月8日(月)から2か所に分かれてですが、再開出来る事を報告しました。また、この日以降、連絡網は使用せず、連絡は担当職員が1名1名に直接電話する事や保護者会に参加不参加の有無に関わらず全ての保護者に議事録を送付して決定事項を報告する事とし、時間をかけても正確な情報の共有に努めました。

「施設全壊から5日間でここまで出来るとは、我ながらよく頑張った!!これで一息つける!」と思ったのも束の間、今度は2週間以上自宅待機となる利用者のストレスが問題になりました。近隣の福祉センター・公民館等は避難所・災害ボランティアセンターとなっており、とても使用できる状況ではありませんでした。そこで毎日、利用者4~5名が職員と一緒に企業へのあいさつまわりに同行したり、動物園・交通科学館・ショッピングセンターで過ごしました。さすがに再開までの間の利用者の居場所までは確保することが出来ませんでした。

この2週間半の間でも、①緊急時の連絡体制の不備、②非常時の場合、利用者の安否確認をする余裕もない、③近くに避難所があっても障害の為、利用しにくい、出来なかった、④施設として正確な情報を発信できなかった、⑤一時的に在宅となる利用者の支援がおろそかになった、⑥役割を分担する事が難しい為一部の職員にのみ負担が集中してしまった、等々の問題が山積みであり、今後の課題でもあります。

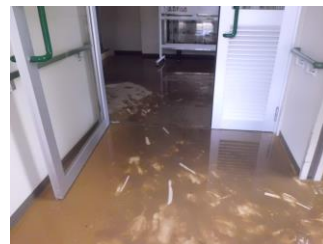


可部つちくれの家

「土砂災害被害を乗り越えたつちくれの現状」

施設長 米田香代子氏

昨年、可部つちくれの家は社会福祉法人清流として丸 10 年を迎え、それを祝う“つちくれ祭り”をどう実施しようかと考えていた時、あの土砂災害が起きたのです。山手の堤防が決壊、土石流が畑と駐車場に流れ込み 40 センチ以上堆積する被害を受けました。建物の中には、出入り口全てのサッシの下から砂・土・水が 4~5 センチ流れ込み、電気もパソコンも、エレベーターも、勿論電話も使えない状況になりました。また、建物の周りには山手から流れ込んだ土砂が 10 センチ以上も溜まるなど多くの被害を受けました。



職員が途方に暮れていた時、いち早く保護者の方々が駆けつけ、そして地域、ボランティアの方々のご尽力もあって、被災から 8 日後には開所することができたのです。また、多くの団体や個人から見舞金等を頂き、壊れた床やエレベーター、電気配線などの修理を行うこともできました。多くの方々の様々なご支援に感謝の念を抱きました。

その後、復興フェスタに参加し、皆様につちくれの米粉を使ったパンや焼き菓子を知っていただく機会を得ました。職員は勿論のことですが、利用者の方々もパン製造に新たな意欲を持ち、昨年の 8 月の減収を少しでも改善できるようにという意識も芽生えてきました。昨年開催できなかった 10 周年記念祭りも『利用者さん主体の祭り』と位置づけ、準備、前日の仕込み、当日の調理・販売まで行いました。5 月 17 日当日、地域の方々も模擬店や演目などに華を添えていただき、利用者さん全員による和太鼓と竹太鼓の演奏や、妖怪体操の踊りを発表しました。



土砂災害以後、様々な体験を通して、利用者・保護者・職員それぞれの「可部つちくれの家」に対する思い入れが強くなり、大きな絆に発展してきたように思えます。これからも利用者の方々が、生き甲斐を感じることでできる施設づくりを目指していきたいと思っています。

あさみなみ

「あれから 1 年・・・8.20 その後」

常務理事 松田 泰 氏

2014 年 8 月 20 日未明、安佐北区・安佐南区では、史上空前の集中豪雨により大きな被害が発生したことはまだ記憶に新しいところです。社会福祉法人あさみなみの運営する事業所でも、祇園地区にある、あさ作業所・かがやき・アンダンテ・せせらぎといった施設が床上 48cm の浸水被害を受けました。特にショートステイ棟せせらぎは当日 3 名の利用者が宿泊しており、寝ているところにどんどん水が入ってきてたいへん怖い思いをしたと当日を振り返っています。



幸い、多くのご支援をいただき、浸水により浮き上がった床材の張替や使用不能となった諸機材の復旧・更新も完了し、今では以前にもまして元氣な仲間たちの声が飛び交う毎日となっています。たくさんのご支援本当にありがとうございました。



気になるのは災害時多くの障害を持つ仲間安心して避難する場所が準備されていなかったり、避難しようにも情報や支援者がなく不安の中で一夜を過ごさなくてはならなかったという事態です。いろいろな災害が例年に比べても頻発している昨今、是非障害のある仲間たちの災害時の安心と安全を真剣に考え、行政とともに知恵や工夫を出し合っていかなければならないと感じています。

カープクッキー

(株) 広島東洋カープ様のご支援により、2010年から始まったカープクッキーの販売、今年は、初参加の事業所も含めて12事業所が参加しています。

以前は、当センターへカープ様の担当者、事業所の担当者が集って試食会を開催していましたが、カープ様からたくさんのクッキーを一度に試食するより日を分けて少しずつ食べた方が、味が分かりやすいとお話があり、今年は試食会を行わず、数回に分けてカープ様へお届けし、クッキーを試食していただきました。

最近では、食品部門のカープ商品がたくさん増え、カープクッキーは押され気味、実際、発注数は減少しています。それでも、売上を伸ばすため、味はもちろん、形もカープや野球にちなんだクッキーに改良するなど、各事業所で工夫を凝らし、全18種類のクッキーのうち半数が新作となりました。カープ様も、新しく菊池涼介選手のラベルを作成していただきました。POPも新しく作成し、お客さまに喜んでいただけるクッキーで今後、売上を伸ばしていきます。

カープクッキーは、マツダスタジアム・グッズショップで購入できますので、ぜひお立ち寄りください。



前田健太選手、野村祐輔選手のラベルの他に菊池涼介選手ラベルが仲間入りしました！！

良和ハウス・プレゼンツ・スポンサードゲーム

今年も、良和ハウス様から、広島カープ・スポンサードゲームへのご招待（野球観戦90名、スタジアムツアー10名）がありました。試合は、8月23日（日）の対巨人戦です。昨年も巨人戦でしたが、雨で中止になるかもしれない不安の中、昼過ぎから予想もしない晴天に恵まれて、さらに逆転勝利という歓喜の嵐で無事終えることができました。

今回の野球観戦には34事業所、スタジアムツアーには6事業所から申し込みがありました。昨年観戦していない事業所や新しいメンバーが多い事業所を優先し、結果、野球観戦は18事業所、スタジアムツアーは2事業所になりました。



昨年の贈呈式

スタジアムツアーでは、普段見ることができないところが見学できます。

そして、このゲームには、毎年、良和ハウス様からのクッキーのご注文があり、17事業所が製作を希望しましたが、良和ハウス様の試食、選考の結果、全事業所へ発注しました。これらは、入場先着3,000名様にクッキーなどを、抽選で当選された20名の方にクッキー詰め合わせ2,000円分、そして試合前に招待者から代表2名がグラウンドに入って両チームの選手代表にクッキー詰め合わせをプレゼントします。カープには、優勝に向かって勝ち続けることをただ願うのみ…。

最後に、毎年、つきっきりでお世話していただく良和ハウス社員の皆様、今年もよろしくお願いいたします。

第 15 回 育成会まつり

「ふれあおう！みんな一緒に三篠の町で♡」

日時：平成 27 年 9 月 13 日（日） 10：00～14：30

場所：三篠小学校（体育館、校庭、図書館）

〔広島市西区三篠一丁目 9-25〕

内容：体育館⇒ステージ発表〔10：00～12：00〕

校庭⇒バザー、ゲームコーナー

図書室前⇒作品展示

図書室⇒千羽鶴解体実習体験（多機能型事業所よこがわ）

問合せ先：広島市手をつなぐ育成会 事務局

TEL082-537-1772

当センターは毎年綿菓子販売を担当します。



広島市役所 1 階ロビー、安佐北区(区役所、総合福祉センター) 出店販売

8・9月の出店販売は下記のとおりです。販売時間は 12：00～13：00 です。皆様のお越しをお待ちしています。

広島市役所 1 階ロビー（東側）				
出店販売日		事業所（1）	事業所（2）	事業所（3）
8 月	4 日	広島どんぐり作業所	工房とも	なないろ作業所
	11 日	SOAR きつつき	安芸の郷	スーリール
	18 日	未来館	おりづる作業所	ワークハウス スマイル
	25 日	もみじ福祉会	スーリール	アイラブ作業所
9 月	1 日	SOAR きつつき	元気工房やるきまんまん	すまいるスタジオ
	8 日	広島どんぐり作業所	安芸の郷	つくしんぼ作業所
	15 日	SOAR きつつき	なないろ作業所	おりづる作業所
	29 日	未来館	アイサンサン作業所	みのり作業所

出店販売日		安佐北区役所	安佐北区総合福祉センター
8 月	4 日	ウイング可部	NPO 法人 憩
	11 日	特定非営利活動法人 つくし工房可部	NPO 法人よもぎのアトリエ 亀崎夢ひろば
	18 日	NPO 法人よもぎのアトリエ 亀崎夢ひろば	ウイング可部
	25 日	NPO 法人よもぎのアトリエ 亀崎夢ひろば	可部つちくれの家
9 月	1 日	ウイング可部	特定非営利活動法人 つくし工房可部
	8 日	特定非営利活動法人 つくし工房可部	NPO 法人よもぎのアトリエ 亀崎夢ひろば
	15 日	NPO 法人 憩	ウイング可部
	29 日	NPO 法人よもぎのアトリエ 亀崎夢ひろば	可部つちくれの家

当センターは 8 月 13 日（木）、14 日（金）をお休みさせていただきます。